

令和6年度1回 釜石市子ども・子育て会議開催結果（概要）

1. 日 時 令和6年6月5日（水）10：00～12：00
2. 開催場所 釜石市上中島児童館
3. 出席者等 <出席委員10人>  
佐々木江利委員、平松寿倖委員、八幡英貴委員、木村仁寿委員、芳賀睦美委員、  
佐々木晴美委員、菊池利行委員、藤原伸哉委員、黍原豊委員、佐藤奏子委員  
<市側出席者>  
釜石市保健福祉部長 鈴木 伸二  
釜石市保健福祉部こども家庭課長 村山 明子  
こども家庭課 主幹 前川 奈津江  
こども家庭センター長補佐 松下 智子  
課長補佐兼子育て支援係長 菊池 喜子  
子育て支援係 主事 佐藤 愛  
釜石市教育委員会事務局 教育部長 藤井 充彦  
釜石市教育委員会事務局 学校規模適正化推進室 課長 佐々木 薫  
学校規模適正化推進室 室長補佐 谷藤 太郎  
釜石市教育委員会事務局 学校教育課 指導係 主任指導主事 石亀 雅哉
4. 傍聴者 2名
5. 結 果
  - (1) 開 会
  - (2) 副委員長挨拶  
内容も皆さんで気になるところを肉付けしていきながら、熱い会議にしていきたいと思いますので  
よろしくお願い致します。
  - (3) 議 事
    - ①特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の廃止等について  
議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。
    - ②特定教育・保育施設の利用定員の変更について  
議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。
    - ③第2期釜石市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について  
議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。<主な質問・意見>
    - 令和5年度の隠れ待機児童が年度末で9名になっているが、現在は9名から減少しているか。  
→令和6年4月には隠れ待機児童が解消されている。  - ④釜石市幼児教育振興プランの進捗状況について  
議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。<主な質問・意見>
  - 特別支援教育の充実について、令和5年度は93.3%となっているがどのような形で支援の必

要なお子さんに対して小学校と連携しているのか、数字だけでは見えないので、その点を詳教  
えていただきたい。

→特別な支援が必要なお子さんがスムーズに小学校に行けるように、園と学校、こども家庭  
センターの心理士とで引継ぎ会議を何回か開催している。

- 数字も大事だが、中身が本当に子どもたちに届いているかというところまで見ると良いと  
思う。少ない人数でやっていることなので、そういった視点も大事かと思います。

→次の計画を作る際に検討する。

⑤第2期釜石市子ども・子育て支援事業計画 重点プロジェクトの進捗状況について  
議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。

⑥釜石市の子育てを取り巻く状況

議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。

⑦ニーズ調査結果の概要について（協議）

議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。

<主な質問・意見>

- 「欲しい情報」の1位に「子どもの遊び場や施設について」が、「充実を望む支援策」に「子  
どもが安心して遊べる場所」が、「自由意見」に「室内の遊び場」という声が挙がっています。  
この意見は、他のお母さんからよく聞く話で、希望する人が多いのかなと思います。アンケー  
トを見ても、土日に遊ばせる室内がないと書いているのですが、土曜日に関しては、上中島児  
童館が開いているし、かまいしこども園のバンブルームも空いてるので、室内の遊び場として  
あることはあります。知らなくて来ていないのか、知っていても来ないのか分からないです  
が、土日に遊び場があるのに利用されていないのが現状なので、もっと多くの人に知って  
もらって利用してもらえればなと思います。

室外のイベントも結構開催されていますが、行くと毎回同じようなメンバーなので、もっと  
他にも新しい人に来てもらいたいと思います。また、体育館みたいな何も遊具がなくてもた  
だ走れるところがあれば良いという意見も聞くので、市民体育館等を開放してもらえたら良い  
なと思います。

- 出てきている数字とその間にあるものを拾ってかなければならないのかなと思います。今平  
松委員がおっしゃったように、本当に思っているのか、なんとなく「○」をつけていてこのよ  
うな調査結果になっているのか。遊び場はあるのに探していないということも考えられるの  
で、このニーズをそのまま満たす施策をしたからといって、良い結果が出るとは限らないの  
ではないかと思います。

教育のための経済支援が本当に子どもたちにとって良いのかなど、ニーズが表面に出てき  
ている部分の奥にあるものをもう少し丁寧に見れたら良いなというところでは。5月の連休最  
後にNHKスペシャルでアタッチメント（子どもたちの愛着形成）の特集がされていました。  
アタッチメントは、おそらく子育ての不安といったところにつながっていて、保育現場で丁寧  
に親御さんに代わってやられているところもあるし、最初の話の保育の質につながっている  
と思います。子ども・若者白書を見ると、世界を変えられると思っている若者の割合が日本は  
非常に低くて、人数も少ないし、何かやれると思える若者が育っていかなかったら、よりお先

真っ暗といった感じがします。今後、この計画について、どの部分を具体的なプランにしなければならぬかということを考えられたら良いと思います。また、普段子どもたちに関わっていると思うことは、最近自己肯定感という話をよく聞きますが、もっと大事なのは自己効力感ということです。何かやれるとか、希望や期待が持てないままやっぱり駄目だよねと思うと、せっかく持っている力が発揮されないまま、諦めるような状況が続いてしまう。それは若者の社会を変えられると思っている割合が少ないことと繋がっていて、これだけ子どもが少なく、お互い顔が見えているコミュニティだからこそ、多くの人に目をかけられて「こういうまちで育ったから、また釜石に恩返しをしよう」と思えるような連鎖が繋がっていったら良いと思います。

→まさにニーズ調査結果の数字の裏に隠されている部分や満足していないところ、お母さん方や子育て世帯のニーズが必要なところを施策に反映していかなければならぬと考えております。委員の意見等も取り入れながら、今後考えて読み取っていったらと思います。

また、自己効力感に関しても、園の先生たちからも話題に挙がることが多いので、保育の質の確保という点でも、園の研修等において取り入れながら施策に反映していけたらと考えております。

- 少子化の話をする際に、子育て支援も大事ですが、未婚化が進んでいることもよく話題に挙がります。違うセクションかもしれませんが、結婚しない人たちが増えていて、子どもの数は実はそんなに変わっていないという議論もあるので、この部分とも連動してくるのかなと思います。
- 未婚化が進むことは、実は就労にも関わっています。やはり地域と中央では違うので、なかなか一緒にはならないですが、働く若者たちの横のつながりを持ちながら労働環境を改善していくことも、子育て支援と関連するだろうと考えております。様々な事業所や機関がつながり、皆で一緒に取り組むことが非常に大事だと思っています。これから働く人の労働改善・賃金改善が子育てにも非常に繋がっていくと思いますので、行政の方からも、様々な面で協力できる体制を投げかけていただければと思っています。
- こういった理由で就労を希望するのかが大切なのかなと思っています。本当に経済状況が辛くて働くお母さんと、自分自身の生き方やスキルを停滞させたくないというお母さんも最近すごく増えてきております。そこを把握していくことで、本当に支援しなければいけない場所も絞っていきけるのかなと思います。
- 「子ども・子育て」と考えたときに、釜石の拠点がどこなのかイメージが湧かない。こども家庭課がある保健福祉センターも一つの拠点だと思いますし、はぐくみルームができて、子連れで行きやすい環境にはなってきていると思いますが、子育てをしている親としては、ワンストップで様々な機能が使える場があった方がありがたいだろうと思います。当会議のスタートや運営としては子ども・子育てが中心ですが、今後見据えていくべき就労支援のような関連する部分が非常に重要になってきていると思うので、他機関・他分野との協議会に参加していただいて意見を吸い上げる機会もあった方が良いのかなと思います。

#### ⑧こどもの生活状況調査の実施について（説明）

議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。

#### ⑨その他

第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール（案）と釜石市立鵜住居幼稚園の現状と今後の在り方について、配布資料に基づき事務局から説明した。鵜住居幼稚園の今後の在り方については、委員から様々な意見をいただいた。

#### <釜石市立鵜住居幼稚園の現状とあり方について・意見等>

- 釜石には田舎でテレワークしながら子育てができる場所がないと思いますが、鵜住居幼稚園の園舎をそのような場所として活用するのはどうでしょうか。  
→鵜住居幼稚園だけではなく、市全体で見ても、幼稚園部分の利用者数が減少傾向にあります。ただ、1号さんの受け皿がなくなるのはよろしくないので、全市的な視点で考えつつ協議していかなければと思っています。
- 自然を活かした保育は、鳥取や島根など西日本に多いです。そういった場所を目指して、わざわざ移住してくる方もいます。エリア全体をフィールドに見立てて運営していくことも、子どもの数が少ないからこそ移住・定住施策としてチャレンジができるかもしれない。また、保育園留学もすごく流行っています。良いフィールドがある園舎とテレワークをセットにして、2週間や1か月間の一時的な預かりをしてもらいながら親御さんもそこで仕事しつつ自然の中で保育してもらえる場所で、非常に人気が出ています。
- 鵜住居は、確かに人口が減っていて、お母さんたちの仕事の場所も、大槌など皆バラバラの状態ですが、鵜住居地域は、山にも海にも近いし、ラグビー場もあるし、学校の世代間交流が掴みやすく、地域活動も盛んにやっていることです。また、鵜住居幼稚園は高台にあって、防災教育的にも本当にリアルで体感しやすい。ものすごい可能性を含んだ場所なのではないかなと思っています。今の形では、やはり細々と難しい現状になってしまうかもしれないですが、移住定住と合わせた振り切った施策ができたなら、本当に先進的なことができるのかなと思っています。
- 鵜住居幼稚園を公設で続けていく必要性はあるのでしょうか。行政の力を借りながらも、民間で運営していった方が運営しやすいのではないかなと思うところがあります。施設運営者にそういう考えがあれば、そういうところに場所を貸し出したりした方が魅力になるのかなと思います。
- 良い環境の場所に、市民皆が集える拠点として活用するのもプラスになるのではないかなと思います。防災もしっかりできているし、釜石といたらラグビーというところもあります。土・日曜日は、学校の校庭も開放するとか様々なことが考えられる地域だと思っています。

#### (4) その他

次回会議日程についての説明（10月頃を予定）

#### (5) 閉 会